

避妊教育ネットワーク

リレートーク 23



野口氏

私と性教育の関わり

平成7年に婦人科を開業後しばらくすると、若い方が多く受診するようになりまして。彼女たちの悩みは月経に関するこ

とだけではなく、望まない妊娠や性感染症など性交に関わる問題が多いことに驚いたのが性教育へ関わる最初でした。問題が起きてから医療機関を受診するのではなく、性に関する基本的な知識を持つて、トラブルになる前に対処できるように思ってもらいたいという思

いからクリニックの外へでて働きかけることになりました。その頃福島県は10代の人工妊娠中絶率が全国3位ということで、教育や保健に関わる県の行政側でも性に関する教育に取り組もうと動き始めたところでした。福島県は面積が広く、各地域がそれぞれ立ち上がらなければうまくいかないというこ

また医師やコメディカルだけでなく、教育や保健行政に関わる人も思春期に関する知識や現状認識を深めていただけるように、年1回思春期保健研修会を開催しています。平成23年度で第7回目に

36回日本産婦人科医学会性教育指導セミナー全国大会を開催します。東日本大震災による原発事故のため、子どもやその親を含めて6万人以上が県外に避難、県内を含めると15万人超が避難しているという状況で、県民が多くの不安をかかえながら生活をしています。

平成23年度で第7回目に

地域で活動する人との連携

継続しています。この事業に参加したことで、地域で思春期ケアカウンセラーを育てる活動をしているグループとのつながりが深くなりました。

思春期相談の記録を見ますと、性に関する知識が不足しているだけでなく、自分の居場所がない、あるいはデートDVがあるにもかかわらず、そこから逃げられない若者たちをD.Vであることすらも気づかない若者たちが見えてきて、彼らが抱える問題の深さを見せられ、医療者がいかに若者たちによりそえるかが課題だと感じてきました。

また「望まない妊娠を繰り返さないために」という厚生労働科学研究に

【略歴】昭和56年福島県立医科大学卒業、平成7年に福島県福島市に女性医師二人で「西口クリニック婦人科」を開業、福島県産婦人科医学会常任理事(思春期保健担当)、日本産婦人科医学会女性保健委員、福島県男女共同参画審議会委員、平成19年母子保健奨励賞受賞

若者たちに性の基本的な知識を

西口クリニック婦人科(福島県福島市)院長 野口まゆみ

本人の力が必要か? 西口クリニック婦人科 024(525)6388

当院では、思春期相談コーナーを開設しています。 予約制 予約日(/ :) 随時着いて相談ができます。 随時でも 個人でも、友達、彼と一緒に相談ができます。 予約が入っていないときなら、すぐに相談できます。 無料相談ができます。

相談コーナー紹介カード 前からやりたいと思っていた思春期相談を実施することができません。この事業が終了した現在も思春期相談を

最後に第36回性教育指導セミナー福島開催のお知らせ

【略歴】昭和56年福島県立医科大学卒業、平成7年に福島県福島市に女性医師二人で「西口クリニック婦人科」を開業、福島県産婦人科医学会常任理事(思春期保健担当)、日本産婦人科医学会女性保健委員、福島県男女共同参画審議会委員、平成19年母子保健奨励賞受賞